

第5号事業

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(1)
事業名	日本語学習支援事業 (1)一般支援(自主) 親子日本語教室			担 当 課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	託児できる環境を作り、子育て中の親が日本語を学習できる機会を確保するとともに、学習が必要な段階の子どもへの日本語学習支援も行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	37	37	0	部	経常増減の部
自主財源	614	595	19	大科目	事業費
区補助金	1,599	1,583	16	種別	自主事業
経常収益計	2,250	2,215	35	(単位:千円)	
事業費	651	632	19		
人件費	1,599	1,583	16		
経常費用計	2,250	2,215	35		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 親子日本語教室
 会場:新宿区立大久保小学校
 回数:通年で全30回実施(1学期=10回・2学期=10回・3学期=10回)
 参加人数:各回20~25人程度
 共同主催:新宿虹の会
 研修会:年1回開催
 その他:託児対応
- (2) 日本語ボランティア交流研修会
 会場:新宿文化センター 小ホール
 開催時期:1~3月の間に1回開催予定

2 成果指標

- (1) 親子日本語教室
 登録者数/60人(1学期あたり20人×3学期平成25年度実績:51人)
- (2) 日本語ボランティア交流研修会
 参加者数/175人(平成25年度実績:169人)

3 実施上の課題

より多くの参加者確保のため周知方法を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

スキルアップのための研修会を年1回開催し、ボランティアの日本語支援能力の向上を促す。

5 実績

平成25年度

- (1) 親子日本語教室登録者数
 前期:平成25年5月11日~7月13日 31人
 後期:平成26年1月21日~3月22日 20人
 ボランティア 12人
- (2) 日本語ボランティア交流研修会
 新宿文化センター小ホール:平成26年1月18日(土)実施 参加者数:169人

6 対前年度予算増減説明

- (1) 活動ボランティア増による諸謝金の増
- (2) 内容精査による通信運搬費及び消耗品費の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成16年度
------	-----------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(2)
事業名	日本語学習支援事業 (2)一般支援(受託) 新宿区日本語教室			担 当 課	地域交流課
				変 更 内 容	—
目 的	多様な日本語学習の場の提供を行い、区内の11%を占める在住外国人に、生活に必要な最低限の日本語を習得し日本人との意思疎通を深めてもらうことにより、多文化共生コミュニティの活性化を目指す。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	14,218	15,422	△ 1,204	大科目	事業費
経常収益計	14,218	15,422	△ 1,204	種別	受託事業
事業費	5,067	6,358	△ 1,291	(単位:千円)	
人件費	9,151	9,064	87		
経常費用計	14,218	15,422	△ 1,204		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)新宿区日本語教室(SJC)の実施
 期間:通年。3学期に分け、教室の空き状況に応じて随時入室可能とする。
 対象:生活に必要な最低限の日本語を習得する必要のある外国人
 内容:媒介語を用いず、日本語を使って日本語を教える直接法による指導
 外国人にとって生活に必要な最低限の日本語の習得を支援する。
 教室数:新宿区内施設10ヵ所12教室を実施
- (2)新宿区日本語教室運営に必要なボランティアの養成
 期間:年間1コース・全30回・60時間(基礎知識と実習)
 対象:日本語ボランティア活動に関心がある人 30人
- (3)新宿日本語ネットワーク(SNN)と連携した無料の日本語学習の場の提供
 回数等:通年、月・火・木・土曜日の午後2時間程度
 内容:日本語初学者に対し、生活に必要な最低限の日本語を指導する。
 対象:日本語初学者の外国人全般 各回40人
 参加費:無料
 場所:しんじゅく多文化共生プラザ
- (4)日本語リソースコーナー及びボランティア活動支援コーナーの管理
 内容:しんじゅく多文化共生プラザ利用者に提供する書籍及び日本語ボランティアへの情報提供や必要な備品を常備するためのスペースを整備する。
 場所:しんじゅく多文化共生プラザ

2 成果指標

- (1)新宿区日本語教室学習者数/576人(12教室×16人×3学期 平成25年度実績:578人)
- (2)ボランティア養成講座受講者数/30人 (平成25年度実績:30人)
- (3)無料日本語学習延べ参加者数/3,630人(165回×22人 平成25年度実績:3,479人)

3 実施上の課題

- (1)日本語教室について申込み後のキャンセル者の防止対策立案。
- (2)日本語教室について、「0」レベル学習者の継続的な受け入れ。
- (3)新宿日本語ネットワークの活動を周知し、学習者が増えるよう支援する。
- (4)日本語ボランティア活動支援コーナーをより良い方法で周知・運用する。

4 顧客満足度の向上方策

- (1)学習者アンケートにより、新宿区日本語教室や無料日本語教室の満足度を測定する。
- (2)受講者アンケートにより、ボランティア養成講座の満足度を測定する。
- (3)図書リクエストカードにより、支援コーナーの満足度を向上させる。

5 実績

平成25年度

- (1)新宿区日本語教室学習者数/578人(延べ学習者数:8,190人) ボランティア数/75人
- (2)ボランティア養成講座受講者数/30人(延べ受講者数:720人)
- (3)無料日本語教室(新宿日本語ネットワーク)
 開催回数:165回(月・火・木・土の午後2時間程度) (延べ受講者数:3,479人)

6 対前年度予算増減説明

ボランティア謝礼及びボランティア養成講座の実績精査による諸謝金・委託費の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
------	-----------	------	-------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(3)
事業名	日本語学習支援事業 (3)子ども支援(自主) 夏休み・春休み子ども日本語クラス			担当課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	外国にルーツをもつ日本語が不自由な児童・生徒が学校や地域コミュニティで円滑な生活を送れるようにするため、夏休み・春休み期間を利用し、日本語の初期指導を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	15	15	0	部	経常増減の部
自主財源	502	515	△ 13	大科目	事業費
区補助金	800	792	8	種別	自主事業
経常収益計	1,317	1,322	△ 5	(単位:千円)	
事業費	517	530	△ 13		
人件費	800	792	8		
経常費用計	1,317	1,322	△ 5		

事業の計画

1 実施内容(予定)

夏休み・春休み子ども日本語クラス
 学校の授業のない長期休業を利用し、外国にルーツをもつ日本語が不自由な児童・生徒を対象とした日本語教室を実施する。
 会場:しんじゅく多文化共生プラザ 時間回数等:夏休み・春休み各10回程度
 対象:(1)新宿区立の小中学校に通い、日本語の学習が十分でない児童・生徒
 (2)平成27年度1学期以降、新宿区立の小中学校に編入する児童・生徒
 定員:夏休み・春休み各15人程度

2 成果指標

参加者数/30人(夏休み、春休み各15人)(平成25年度実績:15人)

3 実施上の課題

新宿区に転入してくる外国人児童生徒へ本事業の周知を行い、参加者数の増を図る。

4 顧客満足度の向上方策

学習者個々のニーズを把握し、それに合った日本語支援を調整・実施できる講師を選定する。

5 実績

平成25年度
 夏休み(8日間)参加者数:8人
 春休み(6日間)参加者数:7人
 平成26年度
 夏休み(9日間)参加者数:15人

6 対前年度予算増減説明

委託費見直しによる減。

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
------	-----------	------	-------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(4)
事業名	日本語学習支援事業 (4)子ども支援(受託) 放課後日本語学習支援			担 当 課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	外国にルーツを持つ児童・生徒が学校や地域コミュニティで円滑な生活を送れるようにするため、日本語学習および教科学習の支援を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	15,701	15,248	453	大科目	事業費
経常収益計	15,701	15,248	453	種別	受託事業
事業費	9,753	9,356	397	(単位:千円)	
人件費	5,948	5,892	56		
経常費用計	15,701	15,248	453		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) 放課後日本語学習支援

内容:マンツーマン方式での日本語学習及び教科学習支援を行う。

会場:新宿区立の支援を必要とする児童・生徒が在籍する、小学校・中学校。

対象:日本語支援を必要とする児童・生徒。

回数等:放課後の時間帯、1回約2時間、上限70回

(2) 日本語子ども支援ボランティア養成講座

会場:多文化共生プラザ

対象:児童・生徒の日本語学習等支援に関心がある方

回数等:全10回・2コース(30人×2コース)

(3) 登録ボランティア(支援員)対象の研修会

回数:年3回程度

対象:登録ボランティア(支援員)

2 成果指標

参加者数/340人(平成25年度実績:236人)

(放課後日本語支援児童・生徒100人、日本語子ども支援ボランティア養成講座60人、登録ボランティア研修会180人)

3 実施上の課題

(1)アンケート結果の反映や支援のフォローを行い、ボランティアが活動しやすい条件を検討する。

(2)各関係機関・関係事業と連携し、日本語学習支援の運営方法を引き続き検討する。

4 顧客満足度の向上方策

定期的な研修会を行うことにより、ボランティアの支援能力の向上を図る。

5 実績 平成25年度

(1) 放課後日本語学習支援

参加者数:小学生参加者数:65人(前年度61人) 中学生参加者数:28人(前年度38人)

(2) 日本語子ども支援ボランティア養成講座

参加者数:前期(全10回)/20人(前年度:30人) 後期(全10回)/29人(前年度:30人)

(3) 登録ボランティア研修会

1回目(7月24日) 参加者数:47人 2回目(11月14日) 参加者数:19人

3回目(1月29日) 参加者数:28人

6 対前年度予算増減説明

支援回数の実績増加による諸謝金の増

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成21年度
------	-----------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(5)
事業名	日本語学習支援事業 (5)子ども支援(受託) 夜の子ども日本語教室 *区計画事業			担当課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	日本語能力が十分でないため教科学習に遅れがちになる外国語を母語とする児童・生徒に対し、教科学習支援及び日本語学習支援を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	7,507	7,507	0	大科目	事業費
経常収益計	7,507	7,507	0	種別	受託事業
事業費	3,778	3,798	△ 20	(単位:千円)	
人件費	3,729	3,709	20		
経常費用計	7,507	7,507	0		

事業の計画

1 実施内容(予定)

夜の子ども日本語教室

会場:新宿区立教育センター(火曜日・木曜日・土曜日)

榎町子ども家庭支援センター(水曜日・金曜日)

※土曜日は中学3年生が対象

時間回数等:19時~21時、(ただし土曜日のみ17時30分~20時30分)

対象:外国語を母語とする新宿区立の小学5年生~中学3年生 約60人

内容:日本語学習支援及び教科学習支援を行う。

また登録ボランティア対象の研修会も年2回程度開催する。

2 成果指標

登録学習者数/40人(平成26年度成果指標:60人)

(榎町子ども家庭支援センターの学習者が減少しているため成果指標を下方設定)

3 実施上の課題

榎町子ども家庭支援センター教室は参加者が減少しているため、周知・広報に力を入れ、参加者数を確保する。

(榎町教室参加者数 25年度:13人、26年度4人(26年8月31日現在))

4 顧客満足度の向上方策

アンケートや研修会を実施しボランティアの意見を取り入れた教室運営に努める。

5 実績

平成25年度

登録ボランティア97人、登録学習者数47人、教室開催回数230回

平成24年度

登録ボランティア88人、登録学習者数59人、教室開催回数229回

6 対前年度予算増減説明

ボランティア謝礼の実績精査による諸謝金の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成20年度
------	-----------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-2
事業名	外国人のための高校進学ガイダンス			担 当 課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	日本の高校進学に関する制度の理解に不安を抱える、外国語を母語とする保護者及び生徒に対し、日本の進学事情について学ぶ機会を提供し、学習・生活におけるサポートを行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	1,352	1,362	△ 10	大科目	事業費
経常収益計	1,352	1,362	△ 10	種別	補助事業
事業費	161	182	△ 21	(単位:千円)	
人件費	1,191	1,180	11		
経常費用計	1,352	1,362	△ 10		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)時期:6月～7月上旬
- (2)対象:中学3年以下の外国語を母語とする生徒および保護者、その他進路指導等に携わる者
- (3)回数と参加者数:年1回、50人
- (4)会場:新宿区立教育センター・しんじゅく多文化共生プラザ等
- (5)内容:NPO法人の協力による外国人高校進学のガイダンス、外国人高校生による体験談、学習支援団体等による支援案内、個別質問及び相談対応

2 成果指標

参加者数/35人(平成26年度実績:33人)

3 実施上の課題

- (1)必要としている生徒や保護者に情報をより多く伝えるため、周知の強化を今まで以上に図る。チラシの配布は学校を優先しつつ、区内各所への早めの周知を心がける。
- (2)教育委員会や学校と情報共有を図り、ガイダンス実施内容や参加者ニーズについて情報を得る。

4 顧客満足度の向上方策

高校進学に直接関わっている学校関係者によるスピーチやアドバイスを盛り込み、現実の進学に必要な情報を的確に伝える。

5 実績

【平成25年度】

日時/平成25年7月21日(日) 13時30分～16時30分

会場/新宿区立教育センター5階中研修室

参加者数/27人・韓国語:3人(保護者:2人 生徒:1人)・英語:5人(保護者:3人 生徒:2人)

・中国語:11人(保護者:4人 生徒:7人)・ネパール語:5人(保護者:2人 生徒:3人)

・その他:3人(見学者:2人 資料のみ購入者:1人)

【平成26年度】

日時/平成26年7月20日(日) 13時～17時

会場/新宿区立教育センター5階中研修室

参加者数/33人・中国語:13人(保護者:3人 生徒:10人)・ネパール語:7人(保護者:1人 生徒:6人)

・タガログ語:5人(保護者:1人 生徒:4人)・スペイン語:2人(保護者:1人 生徒:1人)

・タイ語:2人(生徒:2人)・その他:4人(日本語支援・学習支援ボランティア:4人)

6 対前年度予算増減説明

内容の見直しによる委託料等の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成19年度
------	-----------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-3
事業名	多文化交流事業			担 当 課	地域交流課
				変 更 内 容	—
目 的	国際理解及び日本文化理解を深め、多文化共生社会を実現するためイベント・講座を実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会 計	公益目的事業会計
事業収益	424	730	△ 306	部	経常増減の部
自主財源	292	525	△ 233	大科目	事業費
区補助金	1,990	1,971	19	種別	自主事業
経常収益計	2,706	3,226	△ 520	(単位:千円)	
事業費	716	1,255	△ 539		
人件費	1,990	1,971	19		
経常費用計	2,706	3,226	△ 520		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1)多文化交流プログラム

回数:年間合計7回 定員:各回平均30人

会場:新宿文化センター、しんじゅく多文化共生プラザ、地域センター等

内容:多文化共生CAFE6回、国際理解講座1回、合計7回

(2)国際交流区民のつどい・ひなまつり

回数:年1回、毎年2月下旬～3月上旬に実施

会場:新宿文化センター小ホール、展示室及び4階全会議室

内容:日本文化体験(日本文化に関する舞台発表、茶道、華道、水墨画等)

共同主催:女性海外研修者の会

(3)国際交流サロン

回数:各月第2金曜日、18時45分～20時30分

会場:しんじゅく多文化共生プラザ

内容:外国人と日本人の交流会

2 成果指標

参加者数/1,130人(平成25年度:1,132人)

(1)多文化交流プログラム/210人(30人×7回=210人)

(2)国際交流区民のつどい・ひなまつり(200人×1回=200人)

(3)国際交流サロン(60人×12回=720人)

3 実施上の課題

(1)各国大使館やNPO団体と連携を強化し、国際交流のきっかけとなる講座・イベントを実施する。

(2)外国人の参加者を今まで以上に増やすため、外国人が目にする場所への周知を強化する。

日本語学校以外にもメディア関連に積極的に働きかける。

4 顧客満足度の向上方策

参加者および日本語学校向けアンケートの結果を踏まえ、参加料の再考とより満足度の高い事業計画を行う。

5 実績

平成25年度(参加者数合計:1,132人)

(1)多文化交流プログラム/通年24回実施 延べ参加者数:493人(見学者・協力者236人を含めると729人)

(2)国際交流区民のつどい・ひなまつり/2月22日(土)実施 参加者数:145人(うち有料参加者数191人)

(3)国際交流サロン/通年で12回実施 延べ参加者数:494人

6 対前年度予算増減説明

多文化交流プログラム回数見直しによる諸謝金および消耗品費等の減

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
------	-----------	------	-------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-4
事業名	外国人相談窓口運營業務受託			主 管 課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	外国人住民の生活相談に各言語(英・中・韓・タイ・ミャンマー・ネパールの6か国語)で対応し、問題解決へのアドバイスを対面または電話にて無料で行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	21,752	21,710	42	大科目	事業費
経常収益計	21,752	21,710	42	種別	受託事業
事業費	16,879	16,879	0	(単位:千円)	
人件費	4,873	4,831	42		
経常費用計	21,752	21,710	42		

事業の計画

1 実施内容(予定)

在住外国人の生活相談(対面、電話)に各言語で対応し、問題解決へのアドバイスを無料で行う。
 曜日ごとに英語、中国語、韓国語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語で対応
 区内幼小中学校等が保護者等に配布する書類の翻訳依頼への対応(通年実施)

(1)外国人相談窓口 9:30~12:00、13:00~17:00

会場:新宿区役所1階

対応言語:英語/月~金、中国語/月~金、韓国語/月~金

(2)外国人相談コーナー 10:00~12:00、13:00~17:00

会場:しんじゅく多文化共生プラザ

対応言語:韓国語/月(13:00~17:00)・金、中国語/火・木、英語/水(第1、3、5)・金(第3)、
 タイ語/火、ミャンマー語/木、ネパール語/火(13:00~17:00)

2 成果指標

相談件数/5,314人(平成25年度実績:5,061人)
 (前年度比5%増)

3 実施上の課題

相談員との連携強化により、外国籍住民の声や要望のより詳細な整理について検討する。

4 顧客満足度の向上方策

相談員アンケートにより、相談員満足度を測定する。

5 実績

平成25年度

(1)外国人相談窓口(会場:新宿区役所1階 対応言語:英語/月~金 中国語/月・水・金 韓国語/火・木)
 相談利用件数:4,257人(平成24年度:4,580人 対前年度比:92.9%)

(2)外国人相談コーナー(会場:しんじゅく多文化共生プラザ 対応言語:韓国語/月・金 中国語/火・木
 英語/第1,3,5水、第3金 タイ語/火 ミャンマー語/木 ネパール/火
 相談利用件数:804人(平成24年度:966人 対前年度比:83.2%)

6 対前年度予算増減説明

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成9年度
------	-----------	------	-------

平成27年度事業計画書

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-5
事業名	日本語スピーチコンテスト			担 当 課	地域交流課
				変更内容	—
目 的	来日2年以内、区内在住・在学・在勤の外国人が日頃の日本語学習の成果を発表する場の提供をおこなう。また地域に暮らす外国人が日頃感じる日本や外国の若者が持つ夢について区民に知ってもらう機会を設け、外国人との共生社会づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	306	307	△ 1	大科目	事業費
区補助金	596	590	6	種別	自主事業
経常収益計	902	897	5	(単位:千円)	
事業費	306	307	△ 1		
人件費	596	590	6		
経常費用計	902	897	5		

事業の計画

1 実施内容(予定)

イベント名:しゃべれおん'15
 日時:平成27年6月20日(土)
 会場:新宿文化センター小ホール
 内容:来日2年以内の区内在住・在学・在勤の外国人による日本語スピーチコンテスト
 共催:新宿東ライオンズクラブ・隅田川ライオンズクラブ

2 成果指標

- (1) 発表者数/18人(平成26年度実績:19人)
- (2) 来場者数/180人(平成26年度実績:148人)

3 実施上の課題

- (1) 今後も広く募集を行い、国籍などの多様化も含め多くの外国人が出場できるよう周知する。
- (2) 多くの区民にコンテストの内容を知ってもらう機会として複数の周知手段(動画など)について検討し、導入していく。

4 顧客満足度の向上方策

一般区民が関心をもち、来場する周知方法・内容を検討・実施し、一般来場者の増加を図る。

5 実績

平成23年度	発表者数:14人	来場者数:150人
平成24年度	発表者数:14人	来場者数:118人
平成25年度	発表者数:21人	来場者数:147人
平成26年度	発表者数:19人	来場者数:148人

6 対前年度予算増減説明

根拠法令	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
------	-----------	------	-------